

科目名		建築計画 I			
担当教員		木戸 久美子		実務授業の有無	有
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	講義	時間数	16時間
授業概要、目的、授業の進め方		建築物の基本的な設計の考え方、計画の進め方を座学や事例を通して学ぶ。 1. 集合住宅・住宅地についての計画手法を学び、建築設計に活かせる知識を習得する。 2. ノーマライゼーション・バリアフリー・ユニバーサルデザインなどの基本概念について学ぶ。 3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解する。			
学習目標 (到達目標)		建築物の事例から、平面計画を学び、建築設計に活かせる知識を習得する。また、建築士2級の筆記試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する習熟度を目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		図説 やさしい建築計画 (学芸出版社)			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	集合住宅の計画-1 集合住宅の計画上の要点 ①断面形式による分類・集合住宅の長所・短所			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
2	集合住宅の計画-2 集合住宅の形式と分類 ①アクセス形式による分類 ②住棟の配置と住戸計画、共用部分について			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①～②の予習	
3	集合住宅の計画-3 集合住宅の事例 ①集合住宅の変遷と代表的な事例について			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
4	評価テスト①			項目1～3から抜粋し評価テストで理解度の確認。 解答→解説を行う。 準備学習：項目1～3を教科書、プリントなどで復習	
5	人と地球にやさしい建築計画-1 ①高齢者・障がい者に配慮した建築計画 ・住宅において高齢者などに配慮した計画			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
6	人と地球にやさしい建築計画-2 ①公共施設などにおける部位別の主要な留意事項 ・公共施設において高齢者などに配慮した計画			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
7	評価テスト②			項目5～6から抜粋しテスト評価テストで理解度の確認。 解答→解説を行う。 準備学習：項目5～6を教科書、プリントなどで復習	
8	人と地球にやさしい建築計画-3 ①環境問題と建築における取組について ②持続可能性と環境に配慮した建築の取り組みについて			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①～②の予習	
9	人と地球にやさしい建築計画-4 ①コンバージョンとリノベーション ・建物の再使用とコンバージョン代表的な事例について			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
10	評価テスト③			項目8～9から抜粋し評価テストで理解度の確認。 解答→解説を行う。 準備学習：項目8～9を教科書、プリントなどで復習	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組姿勢	評価テスト			建築設計に必要な知識として建築基礎知識を理解した上で、設計への見聞を広げる。また定期的な小テストを行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。	
成績評価基準は		A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			
実務経験教員の経歴		インテリアコーディネーターの業務における歴20年			